

指定管理者の管理運営に関する評価シート

(評価対象期間：令和2年4月～令和6年3月)

施設名	久喜市偕楽荘	
施設所管課	高齢者福祉課	
指定管理者(団体名)	社会福祉法人 久喜同仁会	
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	

1 事業運営、利用状況

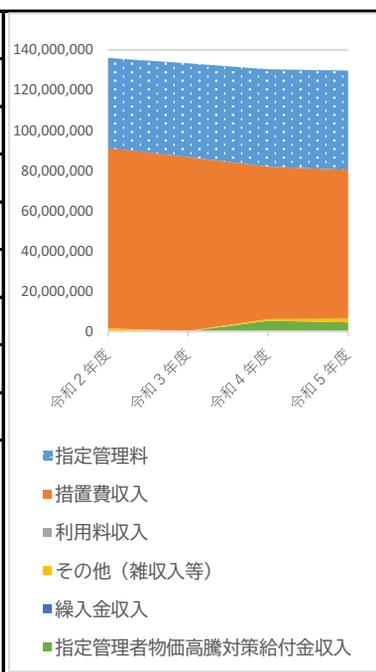
事業計画に掲げた 主な事業の実施状況	<input type="checkbox"/> 事業計画に掲げた事業は全て実施した（最終年度を除く）				
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画に掲げた事業のうち、一部が実施できなかった（最終年度を除く）				
	理由	新型コロナウイルス感染症対策として、ボランティア等の外部の方の受け入れを自粛したため。			
施設の利用状況		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	開館日数（日）	365	365	365	366
	利用者数（人）	15,934	15,384	13,374	12,987
補足説明	「施設の利用状況」の「利用者数（人）」は、延べ入所者数を示している。				
施設所管課の評価	<p>久喜市偕楽荘では、養護老人ホームの事業（入所）を実施している。</p> <p>入所するには、市の附属機関である老人ホーム入所判定委員会にて措置が必要と判断される必要がある。従って、指定管理者側で入所の可否を決定することはできないため、入所者の減少はやむを得ないと考えることができる。</p> <p>入所者数は減少傾向だが、入所者の高齢化や外出の機会の減少による、身体能力低下により、入所者の介護の頻度は高くなっている。これに対しては、限られた職員で適切に対応しており、入所者の事故等を未然に防いでいることは高く評価できる。</p>				

2 収支状況

(1) 収入状況(指定期間最終年度を除く)

単位：円

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定管理料	44,761,000	46,669,000	48,327,000	49,338,000
措置費収入	89,662,857	86,440,333	75,858,942	74,017,794
利用料収入	33,058	57,674	0	29,802
その他(雑収入等)	1,540,859	141,637	849,617	1,695,293
繰入金収入	0	0	0	0
指定管理者物価高騰対策給付金収入	0	0	5,282,000	4,555,040
収入合計	135,997,774	133,308,644	130,317,559	129,635,929
(デイサービス合計)	33,346,783	30,083,251	35,601,617	35,810,109



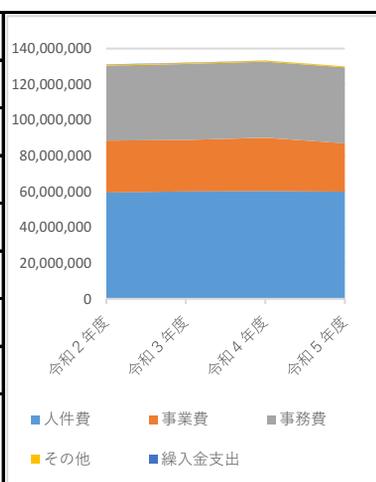
補足説明

- ・ デイサービスの収支計算は、養護・ショートステイとは別に行っているため、グラフには反映していない。
- ・ 介護施設等物価高騰対策給付金は、養護分とデイサービス分で按分しており、養護分は「指定管理者物価高騰対策給付金収入」に記載されており、デイサービス分は「(デイサービス合計)」に含まれている。

(2) 支出状況(指定期間最終年度を除く)

単位：円

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費	59,471,356	60,224,694	60,283,400	59,899,223
事業費	29,125,578	28,661,257	29,809,028	27,074,395
事務費	41,858,528	42,484,726	42,543,865	42,469,312
その他	567,600	571,200	572,400	576,000
繰入金支出	50,000	50,000	50,000	50,000
支出合計	131,073,062	131,991,877	133,258,693	130,068,930
(デイサービス合計)	36,269,537	36,981,366	39,451,442	41,685,147



補足説明

- ・ デイサービスの収支計算は、養護・ショートステイとは別に行っているため、グラフには反映していない。

収支差額	4,924,712	1,316,767	-2,941,134	-433,001
------	-----------	-----------	------------	----------

施設所管課の評価

措置費収入は、入所者数により増減するため、入所者の減少傾向が続いている現状では、この収入は減少している。

その一方で、近年は電気代等の光熱水費が高騰しており、これらの固定費は入所者数に殆ど左右されないため、収支に影響を及ぼしている。令和4年度、5年度は物価高騰対策給付金を支給しているが、改善には至っていない。

このような状況の中、久喜同仁会は、不要な電気を消す等、僅かでも経費を減らす努力を継続している事を評価する。

3 管理運営	
施設の運営業務（維持管理業務）に関する評価	<p>入所施設という性質上、年間無休であるが、日中は職員により、夜間は久喜市シルバー人材センターへの委託により経営している。</p> <p>エレベーター点検や消防設備点検等の施設管理は業務委託としているが、軽微な不良箇所については施設職員で対応し、経費削減に努めており、高く評価できる。また、業者による施設の点検時には職員が立ち合い、不具合の状況（利用者の生活に直結する不具合等）によっては、随時市に報告しており、利用者が安全に生活できるよう努めていることがわかる。</p>
指定管理者の提案による新規取組みとその実施状況	企画提案内容
	①偕楽荘の広報 ②家族会の実施 ③利用者家族向け講座の実施 ④ボランティア、中・高校生、大学生の体験学習および教員の受入れ
	企画提案内容の実施状況（最終年度での実施見込みも含む）
	①関係機関を対象とした説明会の実施、リーフレットの作成。 ②未実施（中止）。家族との面会は再開しているが、面会場所等は制限をかけている。 ③未実施（中止）。 ④大学生の介護等体験での来荘や、児童施設への訪問を行った。
	<input type="checkbox"/> 企画提案内容が予定通り実施された（最終年度での実施見込みも含む）
	<input type="checkbox"/> 随意指定のため企画提案はない
<input checked="" type="checkbox"/> 企画提案内容が予定通り実施されていない	
理由	新型コロナウイルス感染症防止対策として、趣味団体の受入れや家族向け講座は自粛した。
指定管理者の提案による新規取組みとその実施状況に関する評価	<p>養護老人ホーム事業は、特別養護老人ホーム等より認知度が低いため、その周知を図るための説明会を開く等を行ったことは評価できる。</p> <p>今回の指定管理期間では、新型コロナウイルス感染症のまん延により、毎年実施していた家族向け講座や趣味団体による入所者の趣味活動を行うことができなくなってしまったが、令和5年度からは、5類に移行したことで外部とのやりとりを再開するようしており、今後、様々な活動の再開が期待できる状況である。</p>
利用者満足度向上への取組みに関する評価	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、外部とのやりとりの制限がかかっている中で、入所者の満足度向上を目指し、食事アンケートを実施している。この結果を敬老会や季節のイベントで反映し、食事のバリエーションを増やした。また、外食（持ち帰り）や実演食（入所者の目の前で作る）も積極的に取り入れたことは評価できる。</p> <p>今後は、食事以外の場面でも入所者の満足度を上げることが期待される。</p>
4 その他	
情報提供・広報活動、個人情報保護、危機管理状況に関する評価	<p>養護老人ホームの概要について周知を図るため、説明会の開催やリーフレットの作成等、適切な方法で広報活動を行ったことを評価する。</p> <p>個人情報については、入所者ごとのファイルを施錠できるキャビネットに保管し、久喜同仁会の職員のみならず宿直を委託している久喜市シルバー人材センターの職員等にも持ち出し禁止を指示するなど、適切な取り扱いに努めている。</p> <p>また、虐待を理由に入所している者については、電話や来荘での対応方法を全職員に周知徹底し、入所者の安全に適切に配慮している。</p> <p>危機管理については、感染症や自然災害発生時の業務継続計画を策定して、研修等を通して全職員に周知する等、適切な対応に努めている。</p>

5 総合評価

これまでの施設所管課の一次評価

評価年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合評価	B	B	B	B

施設所管課の 一次評価	A <input type="checkbox"/>	事業計画等で掲げた水準等を上回り、かつ前年度実績を超える成果を達成し、優れた管理運営がなされている
	B <input checked="" type="checkbox"/>	事業計画等で定める業務が履行され、管理運営が適切になされている
	C <input type="checkbox"/>	事業計画等で定める水準等を一部が下回り、努力が必要である
	D <input type="checkbox"/>	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善を要する

施設所管課の判断理由

指定管理者である久喜同仁会は、日頃より施設運営に創意工夫を凝らし、課題解決に努めている。
 今回の指定管理期間中は、新型コロナウイルス感染症のまん延により、外部との受入れ等に制限がかかっており、施設の管理運営に大きな影響を与え、入所者の心身にも影響を与えた。
 しかし、食事の工夫や広い施設を生かした歩行等の運動により、入所者の満足度や身体能力の維持を積極的に図っていった。結果としては、要介護度の進行により介護保険施設へ移った方や、新型コロナウイルスへの感染症の影響などで入所者の維持には至っていないが、努力は非常に評価できるものである。
 また、災害時に備えた業務継続計画を策定し、職員も周知して、避難訓練を実施しており、非常時の備えをしていることが窺えた。
 借楽荘には様々な事情のある人が入所しており、個人情報の保護や電話や来荘者への対応についても職員に周知しており、トラブルを未然に防ぐ体制がとれており、総合して事業計画等で定める業務が適切に履行されていると評価した。

これまでの公の施設管理運営検討委員会の二次評価

評価年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合評価	B	B	B	B

公の施設管理運営 検討委員会の 二次評価	A <input type="checkbox"/>	事業計画等で掲げた水準等を上回り、かつ前年度実績を超える成果を達成し、優れた管理運営がなされている
	B <input checked="" type="checkbox"/>	事業計画等で定める業務が履行され、管理運営が適切になされている
	C <input type="checkbox"/>	事業計画等で定める水準等を一部が下回り、努力が必要である
	D <input type="checkbox"/>	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善を要する

公の施設管理運営検討委員会の意見

- ・利用者の満足度向上のために、利用者の自立した生活の継続と介護予防に資するよう取り組んでいることは評価に値する。
- ・指定管理期間において、新型コロナウイルス感染症への対応のため、外部との接触を制限し、家族やボランティア等との接触も控える状況であったが、入所者の意向をイベント時の食事に反映させるなどの創意工夫により、心身の健康保持に努めてきたことは評価できる。
- ・収支面において、直近2年度で赤字が続き厳しい状況が伺える。施設所管課と連携を密にし、持続可能な事業運営に努めてほしい。